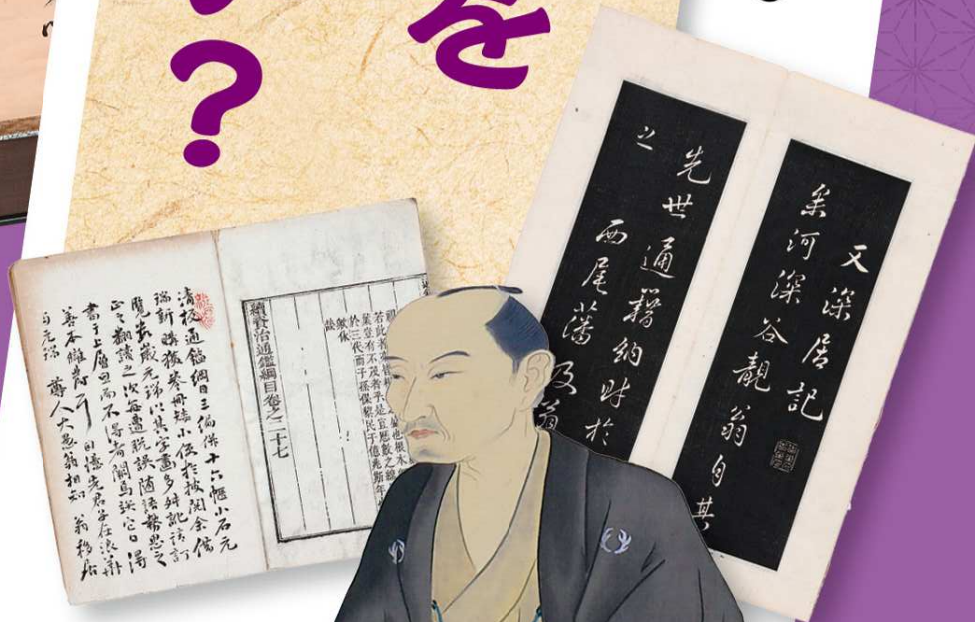




岩瀬文庫特別展

西尾にも来た!

頼山陽を  
知ってますか?



平成30年 12/1 土  
平成31年 2/11 月祝  
入場無料

西尾市岩瀬文庫  
企画展示室

- 開館時間/午前9時～午後5時
- 休館日/毎週月曜日(祝日を除く)・第3木曜日・12月29日(土)～翌1月3日(木)

「頼山陽肖像」  
提供：広島県立歴史博物館（頼山陽史跡資料館）  
写真パネルで出陳。



富岡鉄斎筆『耶馬溪図巻』(複製)



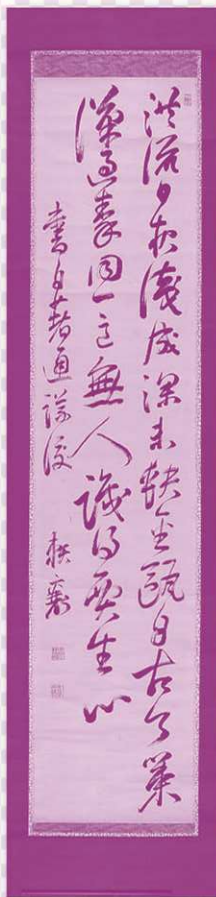
『通鑑綱目』最終巻山陽自筆識語



『又深居記』 個人蔵



「江馬細香自賛墨竹図」 個人蔵



「頼山陽七絶幅」 個人蔵

頼山陽(1780-1832)は、江戸時代の代表的な漢詩人です。歴史書『日本外史』の著者であり、九州の名勝「耶馬溪(大分県中津市)」の探訪と命名から今年でちょうど二百年となりました。

文化10年(1813)、山陽は中部地方を旅し西尾まで足を伸ばしています。この時、豪商深谷家の庭園に滞在し、その感動を『又深居記』(今回展示品)に著しました。この庭園の存在はその後忘れられていましたが、西尾市塩町の宍戸整形外科医院にそのまま残されていることがこのたび判明しました。

これらの事績を含め、本展では、岩瀬文庫の所蔵資料に個人蔵品も加えて、頼山陽の生涯とその交流、そして時代により変遷した山陽像を浮き彫りにします。

【監修】湯谷祐三 愛知県立大学講師

## 【関連イベントなど】

### ◆岩瀬文庫講座

「岩瀬文庫の頼山陽展—その見どころ 勘どころ—(仮)」

日時/31年1月13日(日)午後2時～

講師/湯谷祐三氏(愛知県立大学講師)

場所/地階研修ホール

※予約・料金は不要です。

### ◆展示解説

日時/12月15日(土)午後1時30分～

31年2月2日(土)午後1時30分～

場所/2階企画展示室内

※予約・料金は不要です。

### ◆特別講座「市史編さんの現場からⅢ」

「新編西尾市史」編さんのための調査・研究の成果を専門委員がわかりやすく紹介します。

内容・講師/

①「海の古代寺院—寺部堂前遺跡(寺部廃寺)出土の瓦を中心に—」

永井邦仁氏(愛知県埋蔵文化財センター調査研究主任/市史考古部会調査員)

②「西尾市の地形・地質探偵団～基盤岩類の謎と佐久島の地層のミステリー～」

内田義和氏(岡崎学園高等学校副校長/市史自然部会執筆員)ほか

日時/12月9日(日)午後1時30分～

場所/地階研修ホール

※定員70名(当日先着順)。予約・料金は不要です。

### ◆連続講座「史料から歴史の謎を読み解く2018」

【科研費・基盤研究(S)「天皇家・公家文庫収蔵史料の高度利用化と日本目録学の進展—知の体系の構造伝来の解明—」研究グループ共催】

第1回「鳥居強右衛門の虚像と実像」

日時/12月16日(日)午後2時～3時30分

講師/金子拓氏(東京大学史料編纂所准教授)

場所/地階研修ホール

※定員70名(当日先着順)。予約・料金は不要です。



日本初の古書ミュージアム

IWASE BUNKO LIBRARY

西尾市岩瀬文庫

■開館時間 午前9時～午後5時

■休館日 毎週月曜日(祝日を除く)・第3木曜日・12月29日(土)～翌1月3日(木)

〒445-0847 愛知県西尾市亀沢町480番地 ホームページ <http://iwasebunko.jp>  
TEL 0563-56-2459 FAX 0563-56-2787

■交通のご案内

<電車>名鉄「西尾駅」下車 徒歩20分またはタクシー10分  
六万石くさりバス(市街地線・右まわり)で17分「図書館・岩瀬文庫西」停留所すぐ  
<車>東岡崎 I.C.より約45分

